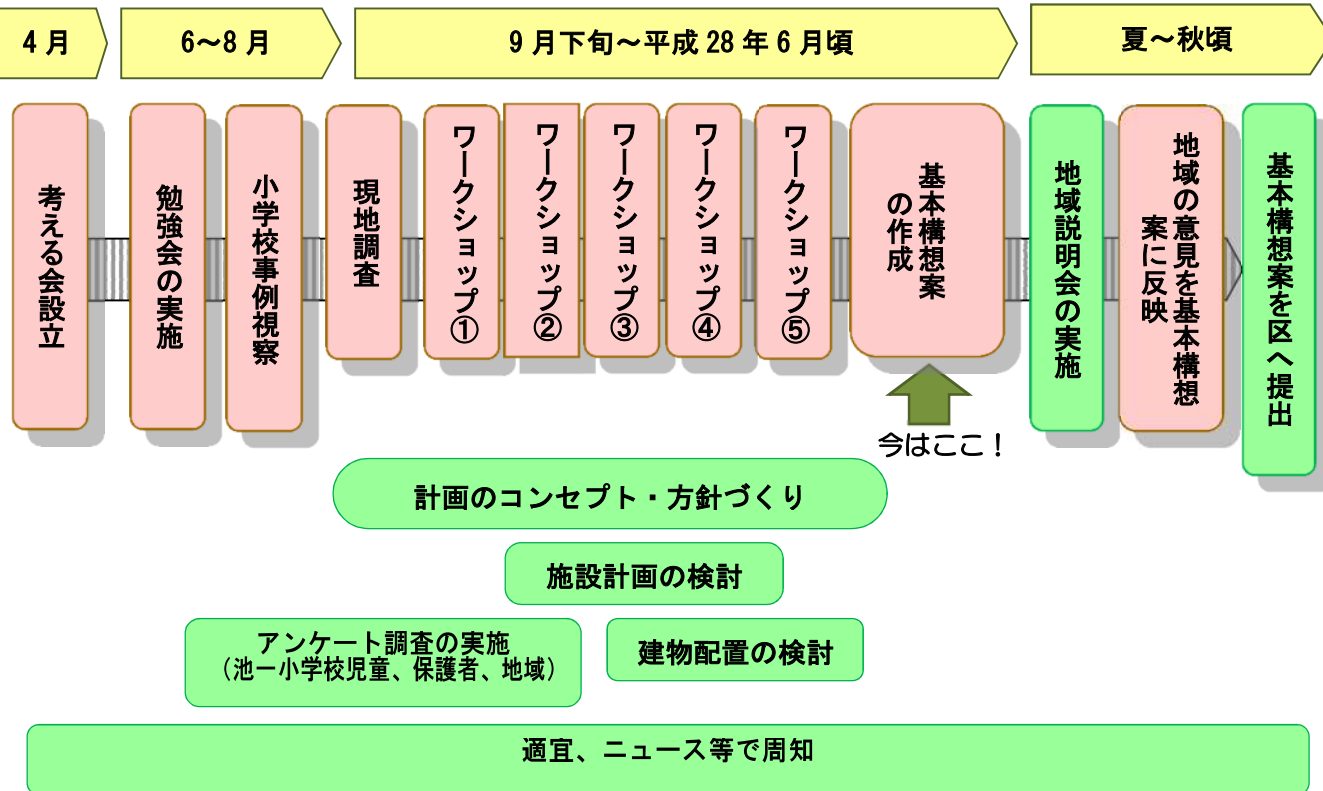


学校改築スケジュール

学校名		H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31 2019	H32 2020	H33 2021	H34 2022
変更前	校舎併設型小中連携校 池二小校地	校舎改築工事	池袋本町小 池袋中 開校						
	池袋中校地			池袋中学校	校庭工事	中学校 グラウンド 使用開始			
	旧文成小校地	池袋本町 小学校	池袋中が グラウンド使用		池袋第一小 仮校舎				
	池袋第一小	考える会	基本設計・ 実施設計	校舎改築工事 30年度1学期～ 31年度3学期まで					
変更後	校舎併設型小中連携校 池二小校地	校舎改築工事	池袋本町小 池袋中 開校						
	池袋中校地			池袋中学校	校庭工事 ※期間未定	中学校 グラウンド 使用開始			
	旧文成小校地	池袋本町 小学校	池袋中が グラウンド使用			池袋第一小 仮校舎			
	池袋第一小	考える会	基本設計・ 実施設計	校舎改築工事 32年度1学期～ 34年度1学期まで					

平成 27 年度以降 考える会の活動予定 (変更後)



「池袋第一小学校の建替え等を考える会」に関するお問い合わせは…
 豊島区教育部 学校施設課 までご連絡ください。
 電話：4566-2789/ファックス：3980-5163/メール：A0029257@city.toshima.lg.jp

池袋第一小学校の建替え等を考える会



ニュース NO.4

編集・発行：池袋第一小学校の建替え等を考える会
2016. 3

池袋第一小学校改築スケジュール変更について お知らせします

池袋第一小学校の建替え等を考える会は、昨年4月に設立されてから、基本構想案の作成に向けて、勉強会やワークショップに取り組んでいます。

本年1月に、池袋中学校校庭の工事期間が延長されることが判明し、それに伴い、池袋第一小学校が仮校舎として使用する予定の旧文成小学校への移転も遅れることになりました。そのため、池袋第一小学校の改築工事の開始時期が、平成30年の4月から平成32年の4月に変更されました。

私たち考える会もこの状況を見守りながら、引き続き活動を続けていきます。



第9回池袋第一小学校の建替え等を考える会のようす

◆変更理由◆

池袋中学校の校舎解体工事を前に校舎等の外壁仕上げ材のアスベスト含有調査をしたところ、一部の外壁塗装に微量ながら規定値以上のアスベストが含まれていることが判明しました。

このアスベストはセメントに練りこまれており、日常的には飛散性がないものの、外壁を解体する際は、法令及び法令に基づくマニュアルに沿って撤去処分することが義務づけられています。このため、従来の解体方法を見直す必要が生じたことから、今後、校舎解体工事に相当の期間を要するものと想定され、校舎解体工事及び校庭整備工事の期間を大幅に延長することとなりました。

中学校新校庭の工事期間延長に伴い、池袋中学校が旧文成小学校を使用する期間を延長することとなります。

池袋中学校が旧文成小学校を使用する間は、池袋第一小学校が旧文成小学校を仮校舎として使用することができません。このため、池袋第一小学校改築工事の開始時期を、平成30年の4月から平成32年の4月に延期します。

第4回

<前提条件の共有と新しい学校に取り入れたいこと>

現在の学校の概要、建て替える際の前提条件（日影規制、周辺のまちづくりの状況など）を共有した後、「児童たちにとっての学校」「地域とのつながり」「災害時利用」の3テーマで“新しい学校に取り入れたいこと”は何かを話し合いました。また、前提条件が厳しくなっている現状も踏まえて、新たな学校の配置案もアイデアとして出しています。



第5回

<配置案の検討>

第4回の考える会で出された配置案A（体育館接続案）のほか、配置案B（南側集約案）、配置案C（北側集約案）について、良い点・心配な点等を話し合いました。その後引き続き、「今の学校の良いところを残す」「児童たちにとっての学校」「地域とのつながり」「災害時利用」の視点で協議を行いました。「児童のため」を第一に考えた学校としながらも、災害時には周辺住民の救援センターとして機能するためにはどのような配置がいいか、盛んに議論されました。



第6回

<方針づくり>

第5回の考える会で出されてた共通の「思い」や「方針」を確認しました。委員の間でも思いがさまざま、検討しなくてはいけない項目があることを整理し、意見交換をしています。



第7回

<提言書づくり①>

これまでの話し合いの結果をもとに、建替えに関する「基本的な考え方（基本方針）」、「施設・機能の考え方（整備方針）」を整理しました。校舎・校庭の配置、校庭の舗装、遊歩道やプロムナードのあり方などについて、盛んに意見交換がされており、まだまだ時間が足りないとの声も出ています。



第8回

<提言書づくり②>

第7回の考える会での協議内容をもとに、引き続き「基本的な考え方（基本方針）」、「施設・機能の考え方（整備方針）」に関して協議しました。

子どもたちの学習環境を重視することだけでなく、一日の大半を過ごす生活の場であること、自然と親しむことのできる環境を整える必要があること、校内の安全性や施設間の連携など、「児童のための学校」についてさらに深く掘り下げて議論しています。

これらに加えて、これまでの地域の歴史や、現在進んでいる上池袋地区のまちづくりとの関連性、地域開放、防災拠点としてのあり方など、学校内外の多様な視点から「学校」を改めて見つめ直し、議論を進めています。

